



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1750 回例会

平成 25 年 6 月 17 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 53 名 出席者数 34 名

出席率 64.15% 前回修正出席率 69.81%

4. 会長スピーチ

会長 花田 宗弘 君

今年度の例会は後 1 回ありますが、国際大会出席のため私にとって今日は最後となります。1 年間へたな話を聞いて頂き有難うございました。

週報も大きな遅れがなく順調に発行して頂きました、皆様のご協力に感謝いたします。

お陰さまで幹事、副会長、SAAを始め、多くのすばらしいメンバーに恵まれ、プレッシャーも無かったため脳梗塞にもならず楽しく過ごすことができました。今月末で一応の区切りですが、ロータリー活動には終わりがありませので、何か役に立つことがありましたらまた使ってやって下さい。

私は 60 歳になってから会員に入れて頂きました、定年後で今さらという感じがありましたが、会員にならして頂いてから随分と成長したような気が致します。今まで見えていなかったものが随分見えるようになりました。例えば、我欲が薄らぎ思いやりの心がめばえました。サラリーマン人生では味わえないことです。フィリピンの孤児院に給食支援のため訪問したときなどは、自国では豊かに暮らすことが出来るのに、そこで一生懸命面倒をみているヨーロッパ人シスターの姿に感激し、貧しくても素敵な笑顔で迎えてくれる孤児たちに日本では経験できない感動がありました。若い留学生のめんどろを見てみると、また、子供が一人で来たような気になりました。



私は人生の中で一番充実しているのは 60 台だと思います。知識と経験が十分にあり、体力もそんなに衰えていません、時間に余裕もあります、子供も大きくなり生活費にも余裕が出来て来ています。少しは世の中のために役立ちたいと云う気運も出てきています。

ロータリーに入って頂くには良いチャンスではないかと思います。近くでそのような人を見かけたら是非声をかけてあげて下さい。人生はまだこれからですと。

今日は次期委員会別話し合いの場です、次年度は活気ある楽しい例会と奉仕活動が出来るよう話し合ってくださいと思います。どうも一年間御支援有難うございました。

5. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山 R C 6 月 25 日(火)→6 月 25 日(火)

18:00～ ダイワロイネット H 4 F
(最終夜間例会)

新宮 R C 6 月 26 日(水)→6 月 26 日(水)

18:30～ かわみ パートナー同伴
(最終夜間例会)

海南西 R C 6 月 27 日(木)→6 月 29 日(土)

18:30～ かめや(最終例会)

6. 委員会別協議

各委員会別に分れ、次年度の活動計画等を話し合いました。

7. 閉会点鐘

次回例会

第 1751 回例会 25 年 6 月 26 日(月)

18:30～ 「美登利」 最終例会



2013 年国際ロータリー国際大会

ポルトガル、リスボン | 6 月 23～26 日



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花田 宗弘 幹事：中西 秀文 SAA：那須 正志

http://www.kainaneast-rc.jp E-mail: info@kainaneast-rc.jp



ニコニコ・BOX

- 花田 宗弘君 今年度、1年間ありがとうございました。
- 宮田 敬之佑君 昨日、海南高校3期生の同窓会がありました。
- 那須 正志君 1年間、大変お世話になりました。
- 小椋 孝一君 海南・海草の青年集会で論文発表がありました。優秀者は県大会に出ます。応援してください。



ROTARY INTERNATIONAL®
THE ROTARY FOUNDATION®

ロータリー国際大会の魅力

世界観を広げ、ロータリーへの理解を深めるために、ポルトガルの首都リスボンで開催される2013年RI国際大会（6月23～26日）にぜひご出席ください。国際大会は、世界各地から集まるロータリアンとのネットワークを広げ、リーダーシップのスキルを磨き、職業、趣味、人道的関心に基づく結びつきを築くまたとない機会です。大会中のワークショップではRIプログラムに関する重要な最新情報を学び、本会議では心に残る講演を聞くことができます。大会会場に設置される「友愛の家」では、世界各地の奉仕プロジェクトについて学びながら世界観を広げるとともに、ご自身のクラブや地区が実施したプロジェクトを紹介することもできます。

ロータリアンをはじめとするロータリーファミリーのメンバー、また、ゲストとして出席するすべての方にとって、ほかでは得られない貴重な経験となるでしょう。

リスボンへようこそ

リスボンは、探検家のパラダイスです。アテネに次いで2番目に古い欧州の首都リスボンは、ヴァスコ・ダ・ガマやマゼランといった偉大な航海者を送り出した街です。全盛期には大航海時代の中心地として、南米大陸からアジアまで幅広い活動域を誇りました。この豊かな歴史を背景に、今日のリスボンには世界レベルの美術館や博物館のほか、大航海時代を記念した巨大な記念碑「発見のモニュメント」をご覧いただけます。大陸の西端に位置し、ヨーロッパでも独特の個性を持つ芸術が発展しました。中立国だったポルトガルは、第二次世界大戦による破壊から免れ、ほかの多くの西欧都市とは異なり、戦後の大規模な修復も必要としませんでした。そのため、街のいたるところで古都のたたずまいを今も見ることができます。リスボンには7つの丘があり、それぞれが異なる特徴を持っています。路面電車で丘の頂上に行くと、言葉では言い尽くせない美しい景観を見渡すことができます。太陽の

光があふれ、朝から晩まで街のさまざまな表情、音楽、光景を楽しむことができます。

大航海時代の面影を今に残すジェロニモス修道院 (Mosteiro dos Jerónimos) とベレンの塔 (Torre de Belém)、そして偉大な航海士たちを記念した「発見のモニュメント



ト (Monument to the Discoveries) は、見逃すことのできない名所です。また、サン・ジョルジュ城 (Castle of São Jorge) やアルファマ (Alfama) の旧市街も見どころとなるでしょう。カルースト・グルベンキアン美術館 (Museu Calouste Gulbenkian) には、石油王グルベンキアンが残した幅広い芸術作品が収蔵されています。ショッピングも充実しており、掘り出し物が数多く眠っています。ユネスコの世界遺産、深い歴史を物語る建物の数々、美しい浜辺、絶景の丘など、リスボンの魅力は数えきれません。

国際大会のプログラムには、著名人による講演や貴重な情報が得られるワークショップのほか、数々のエンターテインメントやロータリアンとのネットワークづくりの機会が含まれています。さらに、大会前行事に参加することで、ロータリーでの体験をさらに広げることができます。



友愛の家の会場となる「FIL (Feira Internacional de Lisboa)」は、本会議が行われるアトランティック・パビリオン (Atlântico Pavilion) に隣接しています。ここには、多くのロータリアンが集まり、新旧の交友を温めます。奉仕プロジェクトの展示やロータリー徽章入り商品販売ブースが設置されるほか、親睦のためのスペース、RI出版物販売ブースも特設されます。また、2014年国際大会への早期登録も行うことができます。

また、リスボン国際大会では、生涯の思い出として残るさまざまな体験をすることができます。国際大会の両会場とも、パルケ・ダス・ナソインス (Parque das Nações) 地域に位置しています。ヨーロッパ最大の再開発プロジェクトの一つとして知られるこの地域は、広大なリバーフロントにあり、ヴァスコ・ダ・ガマ・ショッピングセンター、水族館、体験型の科学博物館など、家族で楽しめるアトラクションが数多くあります。ケーブルカーに乗ると、街を見渡す絶景を眺めることができます。



6月はロータリー親睦活動月間です